

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那南高等学校 学校運営協議会（第2回）
- 2 開催日時 令和4年10月17日（月） 13:30～16:00
- 3 開催場所 恵那南高等学校 ガイダンスルーム
- 4 参加者

会 長	桜井 正之	学識経験者
副会長	鈴木 隆一	NPO法人「いわむら一斎塾」理事長
委 員	額 千尋	明智振興事務所長
	根崎 育郎	本校同窓会長
	安藤 一博	恵那市立明智中学校長
	熊倉あけみ	恵那市恵南商工会女性部部长
	足立伊公子	一般社団法人えな健幸生活支援隊事務局長
	石田 宏樹	株式会社ROBOZ代表取締役
	大嶋 順子	本校PTA代表
	堀 陽子	農事組合法人おんさい工房（欠席）
オブザーバー		
	水野 正敏	岐阜県議会議員
	岡田 庄二	恵那市教育委員会 教育長
	渡辺 康正	明知鉄道（株）代表取締役
	林 尚志	県立高校地域連携コーディネーター

（敬称略）

学 校 側	高橋 俊和	校長	深萱しのぶ	生徒指導主事
	柴 成吉	教頭	小島 光示	総合学科主任
	河村 拓士	教務主任	上川 智草	記録係
	小栗 優来	進路指導主事		

5 会議の概要（協議事項）

（1）本校の現状と取組について

1. 令和4年度学校評価アンケート結果考察
2. 生徒支援部の取組
3. 令和4年度進路状況
4. ふるさと教育関連事業
5. 新規取組（明知鉄道応援プロジェクト・デュアルシステム）の進捗状況

意見1：デュアルシステムの研修先で、恵那市役所の引き受けが可能かどうか未回答ということであったが、現在市役所でも人材確保が難しく、有給でのインターンシップを募集しても、なかなか人が集まらない状況である。ぜひデュアルシステムでの長期インターンシップが実現するよう協力したい。恵那市教育長からも後押しをお願いしたい。

⇒その後受け入れが決定した。

意見2：制服に関し、女子のスラックス希望者の状況はどの程度か。

⇒・現在は男・女の表記をなくし、Aタイプ・Bタイプの表記に変更しているが、Aタイプ（スラックス）を着用している女子生徒は学年に1，2名で、違和感なく自然に溶け込んでいる。

・男子生徒がBタイプ（スカート）を希望した例はまだない。

意見3：昨年度検討して決めたスクールポリシーについて、今後も生徒に継続して周知していくことが必要だ。

意見4：「明知鉄道応援プロジェクト」の具体的なイメージはどのようなものか。

⇒・地域の魅力を再発見し、地域を活性化するためにどのような貢献ができるのかを考えていく取組である。

・駅に対する思いは人それぞれあるが、他の高校の例を見ながら、ローカル線を応援し、地域活性化を考えていく。

・他校の活動内容はポスター作製である。

・毎年駅を一つずつ取り上げ、ポスターやリーフレット作製をシリーズ化する案もあり、単年で終わらず、持続的な活動ができるとよい。

・SNS等を見て観光に訪れる人もいるので、地域の情報を定期的に発信していけるとよい。

意見5：教員の働き方改革について、新しい活動を増やすだけでなく、必要ない活動は削っていくことも視野に入れる必要がある。

（2）本校への提言（グループ別討議と発表）

意見1：恵那市南部地域に学校を残すことが必要だ。恵那南高校の良さを伝えていく必要がある。

意見2：恵那南高校の良さを伝えるために、卒業生にも協力を仰いでいくとよい。

意見3：浪漫学園の活動を広げ、地元で根付く活動をすることで、恵那市南部を支える生徒を増やしていきたい。

意見4：地域への広報活動を広げる必要がある。他校では広報誌（本校の「恵那南だより」）を地区内の全ての家庭に配付している例もある。

- 意見5：町内に空き家が増えているので、空き家を高校が有効活用することを考えてもよい。
- 意見6：町内で朝市が開かれているが、マンネリ化してきている。恵那南高校が参加して新しい商品の販売や活動をしてよい。
- 意見7：地域サポーターの方々にも協力していただき、地域との協力を更に広げて今後活かすように。
- 意見8：広報活動をしているが、なかなか広がっていない印象がある。生徒を使った広報活動を増やし、生徒を広告塔にすることで、恵那南高校は楽しい、という印象を付けられるとよい。
- 意見9：生徒自身の声による広報が大切だ。SNS等で生徒の声を発信していけるとよい。
- 意見10：「産社総合学習発表会」は非常によい取組なので、青年会議所にも案内を出すとよい。
- 意見11：恵那南高校の生徒にエネルギーを感じがしい印象がある。
- 意見12：学校評価アンケートだけでなく、生徒目線での生徒のニーズを知るためのアンケートを実施すると良いのではないかと。
- 意見13：総合学科が理解されていない。総合学科の魅力についてのアピールが不足しているように感じる。
- 意見14：「卒業生と語る会」を在校生に対してだけでなく、中学生に向けても実施すると良い。
- 意見15：小規模高校の活性化のため、県と連携して寮を作って全国から生徒を集めるような大胆な提案をしてよい。

6 会議のまとめ

- ・「本校への提言」について検討する際、グループ討議の方式を採ったため、自由で活発な意見の交換ができた。
- ・学校評価アンケートの考察を行ったが、アンケートでは保護者および生徒から概ね高い評価を得ている。課題となった点については、あらためて職員で共有し、今後の学校運営に生かしていきたい。
- ・現在の教育実践や新たな取組についての理解と評価を得ることができた。また、今回出された提案についても実現の可能性を検討し、今後も、恵那市南部に高等学校が存続していくために、将来を見据えた教育活動を推進していきたい。
- ・学校の現状や取組に良い評価を得た一方で、そうした学校の魅力が地域に十分浸透していないのではないかと、というのが委員の共通した思いであった。特に、生徒の声を活かした情報発信の有効性については複数の委員から出された意見であったので参考にし、情報発信に努めていきたい。